

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、National Clinical Databaseを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

医療の質の向上及び効率化に向けた、肝移植手術におけるリスクモデルの作成とエビデンスの創設

【研究機関】 愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵・乳腺外科学講座

【研究責任者】 高田 泰次（肝胆膵・乳腺外科学講座）

【研究代表者】 後藤 満一（大阪府立急性期・総合医療センター）

【研究の目的】

National Clinical Databaseに登録された患者さんの情報を収集し、肝移植術の質の向上を目指す研究を行うことといたしました。この研究は今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2011年1月から2015年12月までに施行されNCDへ登録された症例のうち、肝移植レシピエント、生体肝移植ドナーの全症例および日本肝移植研究会に登録された、2011年1月から2015年12月までに施行された肝移植レシピエント、生体肝移植ドナーの全症例。

（利用する情報）

① 基本項目

生体肝/脳死肝の別、移植肝亜区域、肝移植重量、移植日、移植回数、その他。

② レシピエント情報

生年月日、性別、年齢、原疾患、ABO血液型、Rh血液型、血液浄化法、肝細胞癌歴、HBV、HCV、その他。

③ ドナー情報

生年月日、性別、年齢、ABO 血液型、Rh 血液型、レシピエントとの関係
脂肪肝、残肝率、摘出肝重量、HBV、HCV、その他。

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。参加施設は、以下の研究グループです。

免疫アレルギー疾患等実用化研究事業（移植医療技術開発研究分野）

医療の質の向上及び効率化に向けた、肝移植手術におけるリスクモデルの作成とエビデンスの創設

（課題管理番号 17ek0510019h0002）

【個人情報の取り扱い】

National Clinical Database の情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化しています。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵・乳腺外科学講座 高田泰次

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327